

作成日:2020年2月4日

出張報告

1. 訪問者： 加藤豪司（海洋大）
2. 訪問国・機関名： SEAFDEC/AQD
3. 相手国対応責任者： AQD 次長 Ko-ichiro MORI、AQD 研究部長 Leobert de la PENA
4. 訪問日程： 2020年1月27日～30日
5. 活動内容：

1月27日 成田ーセブーイロイロ移動 イロイロ泊

午前9:35分に成田空港を出発し、現地時間14:00にイロイロ空港へ到着した。その後、市内のホテルに移動した。

1月28日

Tigbauan の SEAFDEC-AQD Main Station を訪問した。午前中に所内の定期セミナーにおいて、「Gill-epithelial antigen sampling cells in rainbow trout: A novel mucosal antigen sampling system of teleost fish during vaccination」と題して講演を行った。

午後は、所内の研究施設および飼育施設を見学させていただき、その後、Fish Health Section の研究者と今後のハタ類に関する共同研究の実施内容について打ち合わせを行った。



セミナーの Certificate

ミルクフィッシュ親魚の飼育池



ジャイアントグループアの飼育池

SEFDEC AQD で生産されたナマコ

1月29日

午前中に Igang Marine Station Mariculture Park を訪問し、飼育施設・実験施設を見学した。また、午後には、Dumangas Brackishwater Station を訪問し、飼育施設や実験施設を見学した。



Igang Marine Station Mariculture Park



Igang で飼育されているジャイアントグルーパー



Dumangas のエビ養殖池

1月30日

イロイロを午前中に出発し、セブを經由して 20:30 に無事成田に到着した。

6. 問題点、改善点、提案等:

特になし